

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18040	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	医学・医療概論 (Outline of Medicine and Healthcare)				
担当教員名	○木村哲／石原照夫／小西敏郎／坂本すが／ 佐々木美奈子／渡會睦子／山本由加里／氏原将奈				
授業の概要及び到達目標					
<p>(概要)</p> <p>近年の医学および医療技術の目覚ましい進歩は、医療ニーズ・医療環境の大きな変化とあいまって、従来の医学・医療に新たな変革と秩序の確立を求めている。医学とは何か、生とは何か、医学の目指すもの等、保健、医療、福祉、栄養と、医療に従事するものとして、医学の基礎知識および最新情報を学ぶ。</p> <p>また、医療の概要をその仕組みの視点から学び、専門職者として医療における課題を達成していく基盤となる考え方と方法論を理解する。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会において医療が果たしてきた役割と今後のあるべき将来像を説明、記述できる。 ・ 社会における医療の現状および課題を、看護、情報、栄養の視点から理解するとともに、課題を達成するために専門職の果たす役割について説明、記述できる。 ・ 医療を仕組みの視点から理解し、この仕組みと課題達成との関連を説明、記述できる。 ・ グループ毎にテーマについて学習を進め、データ・根拠に基づいた発表を行うことができる。 					
準備学習等					
<p>日頃から、新聞等により医療をめぐる社会的課題について関心をもち、情報収集しておくことを期待します。第1-4回目の講義を参考にしながら、興味がある医学・医療に関連する新聞記事を探してください。準備時間は各1時間程度です。</p> <p>第4回目の授業終了後に新聞記事を提出し、新聞記事のテーマからグループを編成します。</p> <p>第5回目の講義からは授業前後で教科書の該当範囲を読み、第1-4回目の講義で学んだ内容と統合しながら、医学・医療の理解に努め、各グループで新聞記事のテーマについて探求してください。</p> <p>各授業で参照する教科書範囲は下記を予定とする。</p> <p>第5回： 第3章 人と環境 2「発達・変化するものとしての人間」 第4章 健康と看護</p> <p>第6回： 第5章 保健医療システムと看護</p>					
成績評価の方法	評価は授業への参加状況（70%）、レポート（30%）によって行う。				

テキスト	「看護学概論 第5版」(松木光子編：ヌーベルヒロカワ)
参考図書	授業内で紹介する。
備考	<p>医療のコラボレーション教育」や「専門職の教育」を受ける上での基盤となる科目である。時間割は変則となるので、掲示に注意してください。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>講義内容に関する質問がある場合、第1回～第4回は授業終了後に受け付けます。第5回以降については看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。第5-7回授業時に実施するレポートについて、添削後返却しますので、以降の振り返り学修に活用する等よく復習した上で授業に望んでください。</p>
授 業 計 画	
1. はじめに 医学の歴史／講義	(渡會・佐々木・山本・氏原) (木村)
2. 医療の現状と課題①／講義 看護の分野を中心に	(坂本)
3. 医療の現状と課題②／講義	(小西)
4. 医療の現状と課題③／講義	(石原)
5. 保健医療の対象者の理解①／演習 各課題における発達段階の課題を理解した上で、対象者の生活・考え方を理解する	(渡會・佐々木・山本・氏原)
6. 保健医療の対象者の理解②／演習 各課題に関わる制度・保健医療システムを調べ、サービスの利用状況とニーズを理解する	(渡會・佐々木・山本・氏原)
7. 保健医療の対象者の理解③／演習 各課題の改善に向け、看護職の果たす役割・今後のあるべき将来像を検討する	(渡會・佐々木・山本・氏原)
8. 保健医療の対象者の理解④／演習 学びの共有(発表)	(渡會・佐々木・山本・氏原)